

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月29日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100545		
法人名	有限会社ライフプランニング		
事業所名	グループホームひだまりの丘		
所在地	釧路市白樺台2丁目8番20号 電話 0154-92-3360		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年11月27日	評価確定日	平成20年2月7日

【情報提供票より】(平成19年11月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	6人、非常勤 3人、常勤換算4人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	34,000 円	
敷 金	有 (円)	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり		12,000 円	

(4) 利用者の概要(11月15日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名	
要介護1		要介護2	3名			
要介護3	2名	要介護4	3名			
要介護5	1名	要支援2				
年齢	平均	82 歳	最低	63 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	清水桜ヶ丘病院・宮本歯科・白樺台病院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然環境の良い静かな新興住宅地にあり一般住宅と違和感のない建たづまいで、ホーム内は、ワンフロアで広々とし、それぞれの居場所でくつろいでいる。日当たりの良い庭にベンチやテーブルを置き、散歩後や畑作業の途中に休んだり日光浴しながら利用者が談笑したりしながら過ごしている。管理者は認知症の特徴を理解し日々職員と会話をし、一人ひとりを尊重し理念にもとづいた生活支援を重視し、できることを見守りながら日常生活を豊に過ごせるように努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との交流は町内会がなく難しい現状であるが、近隣の方が運営推進会議に参加され理解を広める働き掛けを続けている。また地元小学校と交流をもっている。今後も交流を続けていくことを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で自己評価に取り組み、でた意見を会議で取りあげて話し合い今後もさらにケア向上に活かすことに期待したい。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヵ月に1度の開催を行なっている。運営推進会議ではホーム側から行事を中心とした報告だけでなく参加者からの質問や意見に答えている。家族代表者からは、利用者の日常生活を報告を頂いている。今後、地域に町内会ができるように期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	「ホーム便り」を定期的に家族へ送付するとともに家族の訪問時に報告相談をしたり体調については随時電話で連絡している。また運営推進協議会の中でも家族の意見を聞いたり話しやすい雰囲気作りに努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	新興住宅地で若い世代が多く、なかなか町内会ができにくい状態にある中で、運営推進協議会に近隣の町内の方の参加を頂き質問や意見を寄せてもらっている。町内会ができた時には運営推進協議会にも参加を頂、地域の人たちの交流を期待したい。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の運営理念に沿い地域の中で豊かな生活を送れるように事業所としてその理念を深めようと努めている。	○	パンフレットに入れてある、「地域とふれあう生活」を法人の理念に中に入れることを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は朝のミーティング後全員で復唱し互いに実践の中で取り組み管理者も日々会話などで具体的に理念が実践されるように働き掛けている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新興住宅地でまだ町内会がないが、近隣の人との挨拶は欠かさないようにしている。入居者とともに小学校訪問をし、子供達と交流を行ない地元との交流に努めている。	○	近隣住人の協力は大きく、運営推進会議を利用しイベントへの協力とともに日常的なふれ合い交流を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員が評価に係わり、より良いホームを目指している。自己評価を理解し、外部評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に1度の運営推進会議を開きその中でだされた意見や要望をサービスの向上に努めている。また家族の人が意見をだしやすいような場面を作りをしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて関連部署との連絡は取り合いサービス向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	1ヵ月に1回「ホーム便り」を配布し近況報告とし金銭管理についても定期的に領収書とともに家族に送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時や運営推進会議などで家族の意見は、ホーム会議などで話し合い運営に反映されるように努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員移動は、入居者の状態により知らせない時も有るが、家族の方には訪問時に紹介している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は、時間の許す限り研修や講習会に参加している。また働きながらトレーニングしている職員もいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループ協議会の連携があり、職員の人的交流や研修会などがあり、活動を通じてサービスの質を向上を目指す取り組みに努めている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の気持ちを尊重し、家族と面談や見学をして頂いても不安があれば落ち着き、納得するまで待ち、ホームでの暮らしが円滑に移行できるよう配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者とともに花壇整備や、野菜作りの作業をしている。一般的礼儀作法や得意なことは教えて頂くなど、ともに支えあう関係を大事にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常一緒に行動をする中で気付きや思いを感じ取れるように、また困難な人には表情やしぐさを観察し、思いを把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者や、介護支援専門員が中心となり利用者の希望や家族と相談し介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに見直しや評価を行ない、必要に応じて随時見直しをし、家族に相談している。現状に即した新たな介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望に応じて、通院介助や買物など出掛けたい場所への外出の支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望を聞き、掛り付け医の受診をしている。また訪問診療を受けている方もいる。ホームで通院の送迎も行ない医師との関係を築きながら柔軟な支援をしている。管理長が看護師であるので日々健康管理に気をつけている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	できるだけ早い段階で掛り付け医や家族と連絡し話し合い今後のあり方を相談し、職員と話し合っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した支援を行ない記録など個人情報についての取り扱い徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの状態に合わせパターン化するのではなく、散歩、買物、ドライブなどに対応している。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	管理長が利用者の希望を聞きながら献立を立て、買物には利用者も同行し職員と一緒に準備や配膳、後片付けをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回以上は入浴できる体制を取っている。本人の希望により夜間入浴も対応できる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の状態に合わせ掃除、調理、洗濯物たたみ、後片付けなどそれぞれに役割があり、また楽しみが持てるように声掛けをし支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	寒さの厳しい冬期間は別として、日常的に散歩や買物、畑の作業など出掛けられるように支援をしている。時には喫茶店にも出掛けている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けることの弊害を管理者及び全職員が理解しており日中は掛けていない。錠錠は、夜間のみとしている。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム内の避難訓練を実施しているが、地域住民の協力は、得られる具体策などの検討は十分とはいえません。	○	運営推進協議会の中で話し合いを持ち、地域住民の協力を頂き、一緒に避難訓練ができるように期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや水分摂取など一日を通じて確保されている。一人ひとりの状態に対応し量を加減したり盛付けに工夫しながら支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や光は感じられない。居間と食堂に生活感を取り入れ居心地よく過ごせるように共用空間作りを工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、入居時本人や家族と相談しながら使い慣れた物を持ち込み、本人が居心地よく過ごされるように工夫をしている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。